

おもな学校行事予定(11月～12月)

	大学	高等学校	中学校	小学校
11月	4(土) AOマルデス入試2次審査 (経済学部・法学部・文学部) 5(日) 法科大学院既修者入試 (一般・社会人筆記試験) 11(土) AOマルデス入試合格発表 12(日) 法科大学院既修者入試 (社会人面接) 23(祝) 大学創立記念日 23(祝)～27(月) 榊祭期間 25(土)・26(日) オープンキャンパス	4(土) 第1回学校説明会 11(土) 第2回学校説明会 18(土) 名人会	18(土) 第3回学校説明会 名人会	1(水)～7(火) 新1年入試
12月	26(火)～1月9(火) 冬期休業	2(土)～7(木) 期末テスト 19(火) 終業式・保護者会	4(月)～7(木) 期末テスト 18(月) 終業式・保護者会 20(水)～23(祝) スキー教室	14(木) 音楽会 22(金) 終業式



昭和30～40年頃の緑蔭堂文庫



緑蔭堂文庫 内観

二〇〇六年九月、成蹊大学に新たな図書館が誕生した。「知と情報の拠点」として本館と並び成蹊学園の新しいシンボルとなる情報図書館である。今回は時代をさかのぼり、成蹊学園吉祥寺移転後初めてできた図書館「緑蔭堂文庫」を紹介する。

一九〇六(明治三九)年に創設された私塾(翌年「成蹊園」と命名)にはすでに図書室があった。一九二二(明治四五)年開校直前の成蹊実務学校が火事に遭った際、学園創立者中村春二は子どもたちとともに真っ先に本を運び出した。これは「人間はいかに生きるべきか?」という問いを教育の根幹に置いてきた中村にとって、先人の叢知を学ぶことができる書物は、優れた人格の人間を育てるために必要不可欠なものであると考えたからである。

その精神は、成蹊大学図書館の原点である「緑蔭堂文庫」に受け継がれる。

緑蔭堂文庫は成蹊高等学校(旧制)の図書館として、一九三八昭和一三年一月に現在の大学一四号館の位置に竣工した。シメントリーな外観の木造平屋の閲覧室に鉄筋コンクリート二階建ての書庫が渡り廊下でつながられた独自の設計。閑静な環境で心ゆくまで読書、思索し、ゆっくり落ち着いた勉強ができるように、と松林に囲まれた場所が選ばれた。緑蔭堂文庫という名称は岩崎小弥太理事長が自身の句集「巨陶集」の「緑蔭清風寛の音のありと」に拠っており、その名を揮毫した扁額が学園史料館に保存されている。

緑蔭堂文庫は中村春二文庫をはじめとする貴重なコレクションを擁し、開館当初から蔵書の質の高さで知られていた。また、当時図書の利用については、閲覧者が自由に書庫に入り書物を直接選択し、自ら手続して閲覧する開架式が成蹊の伝統とされていた。

戦後大学図書館となったが、一九六七(昭和四二)年に新たな大学図書館(情報図書館の前身)が建設されたため、緑蔭堂文庫は工学部(現理工学部)資料室などとして利用された。その後二〇〇〇(平成一二)年九月に大学一四号館建設のため、六十二年の歴史に幕を閉じた。

延床面積は七〇七・〇二平米、付属の書庫は三九六・六八平米。

緑蔭堂文庫

SCHOOL JURIDICAL PERSON SEIKEI GAKUEN

成蹊学園 広報

第63号
Autumn
2006

情報図書館オープン

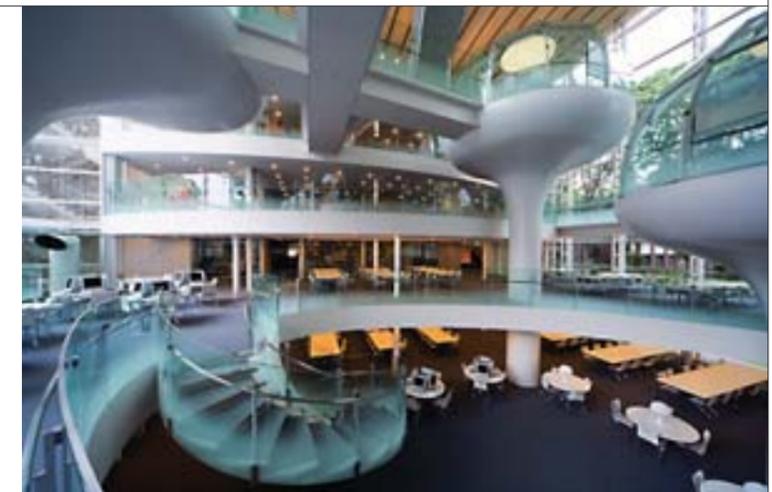
人と、地域と、社会を結ぶ、21世紀の『知と情報の拠点』

～学園創立100周年に向けて、成蹊学園のもうひとつのシンボルの誕生～

[CONTENTS]

- 2 情報図書館オープン
- 6 桃李の人々(前日本弁護士連合会会長 梶谷 剛)
- 9 法科大学院からのお知らせ
- 10 大学の近況
- 12 中学・高等学校の近況
- 14 小学校の近況
- 16 創立100周年記念事業募金局からのご報告
- 18 健康支援センターから
- 19 学園TOPICS/榊祭
- 20 学校行事予定(11月～12月)/学園史料館だより

情報図書館アトリウム



成蹊学園広報

2006年11月10日 発行 学校法人成蹊学園 総務部広報課
東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1 電話 (0422)37-3517

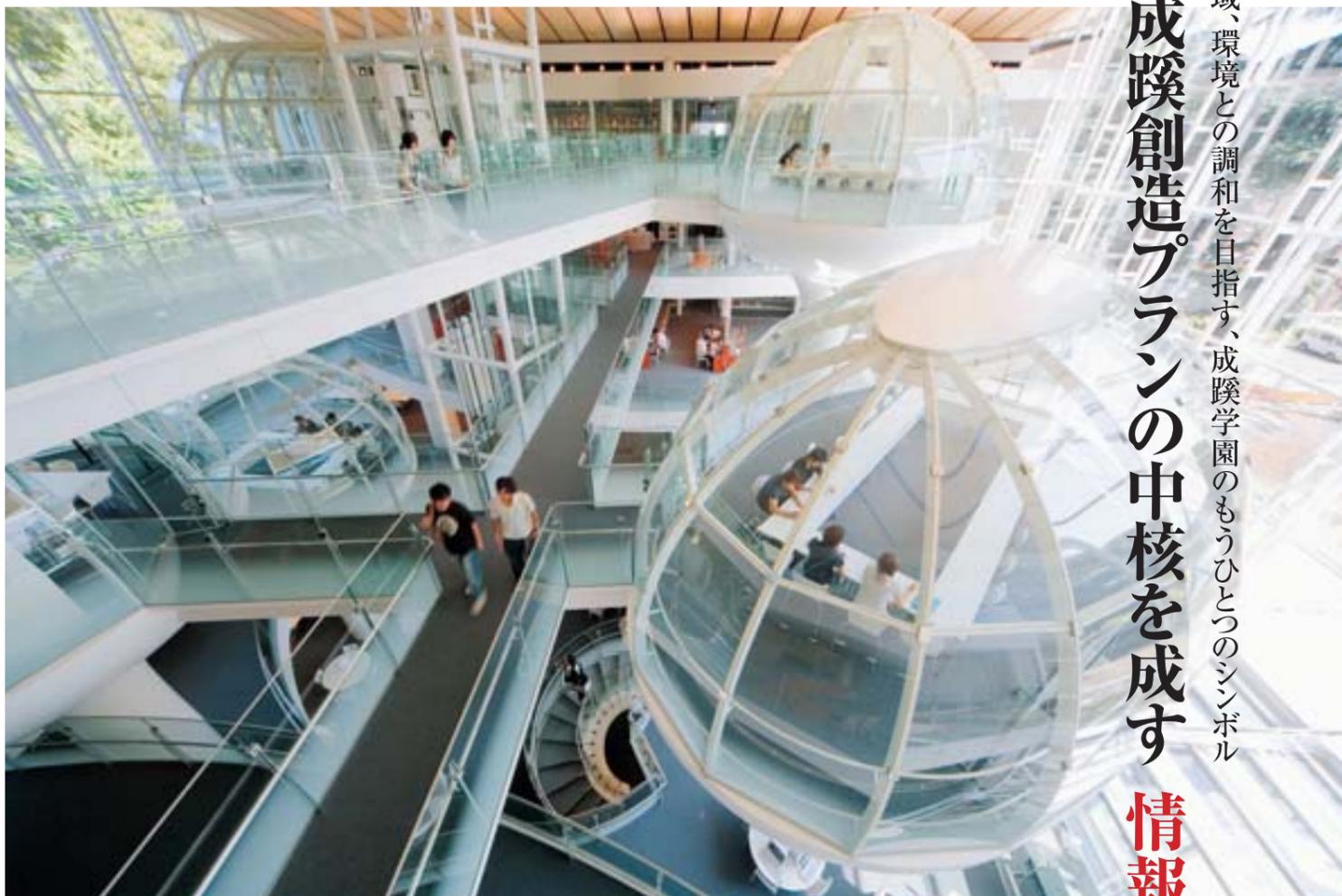
URL <http://www.seikei.ac.jp> E-mail koho@jim.seikei.ac.jp



成蹊学園創立100周年記念事業の一環として
約1年半の歳月をかけ、2006年9月、情報図書館が開館しました。

人、地域、環境との調和を目指す、成蹊学園のもうひとつのシンボル
新・成蹊創造プランの中核を成す

情報図書館 始動



新しい時代の図書館のあり方を先取りした「知と情報の拠点」

2012年、学園創立100周年を迎えるにあたり、さらなる教育・研究環境の充実を目指して、ソフト・ハードの両面にわたる「新・成蹊創造プラン」が進行しています。この記念事業の中核を成すのが、9月21日にオープンした情報図書館です。情報図書館は、学術文献、図書資料をはじめ、ネットワークの構築により、学内外、世界各国の情報が瞬時に利用・発信できる「知と情報の拠点」となります。

また、約50万冊の本を自由に閲覧できる開架書架とともに、約72万冊の収蔵能力を持つ自動書庫など、情報化時代にふさわしいインテリジェント機能を備えています。卒業生やご父母、地域にも開かれた図書館として、今、成蹊学園の歴史に新たな1ページが加わりました。

**「交流」と「学習・情報」エリア
斬新な空間設計も特色**

情報図書館の外観は本館をはじめとするキャンパス内にある伝統的なレンガ造りの落ち着いた雰囲気を保っています。建物の中央はガラス張りの吹き抜け（アトリウム）になっていて、採光性にすぐれた、明るく開放的な空間が広がっています。

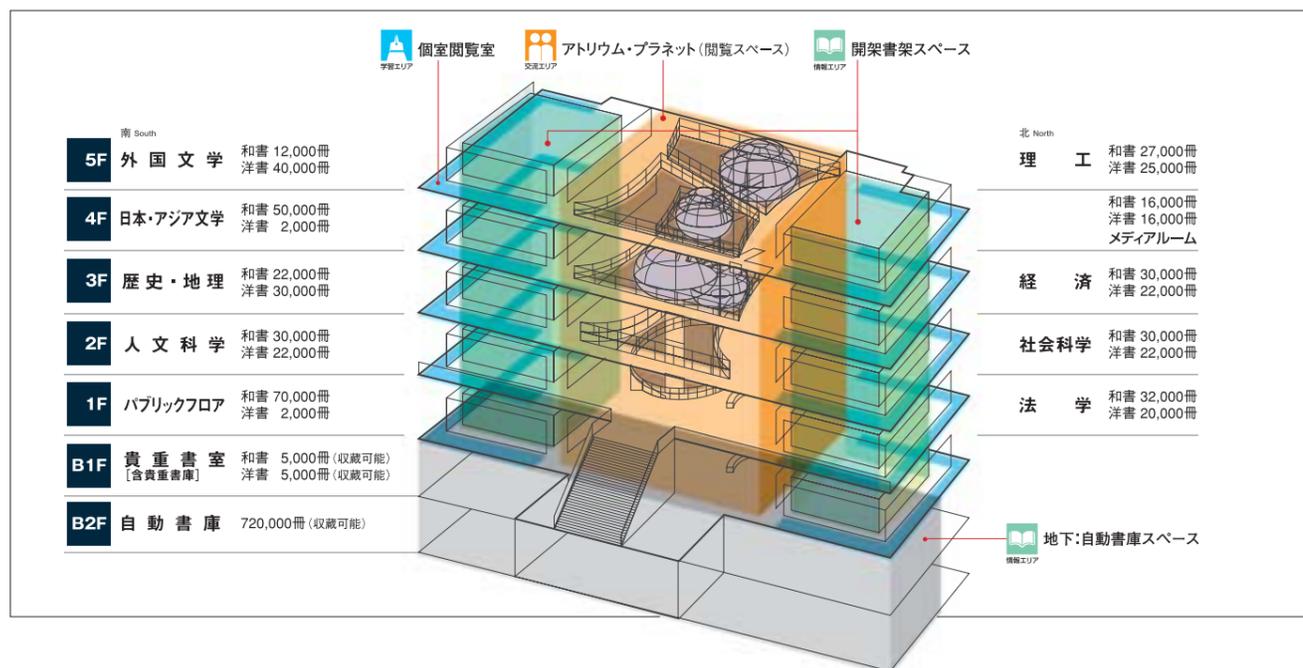
地下の二フロアは主に書籍を自動的に取り出せる自動書庫にあてられ、一階から五階まではアトリウムを中心に、南館、北館の開架書架へとつながっています。

さらに「動」から「静」へと移ろつ、これまでの図書館の概念を覆す、斬新な空間設計にも特色があります。エントランスからリフレッシュエリア、アトリウムを中心とする閲覧スペースは、活気あふれる「動的な交流エリア」です。飲み物を飲みながら友人や教員と会話を交わしたり、学習・研究の合間にゆったりリフレッシュできます。

交流エリアから、南・北館内へ進むと学習・情報エリアへ。開架書架では約50万冊の本を自由に閲覧できます。四階には、LDやDVDといった映像資料を視聴できるメディアルームも設置されています。建物の窓側には、個室閲覧室を完備。全部で二六六席あり、個人の学習スペースとしてだけでなく、情報コンソートを活用し、インターネットとつながることで、世界中から情報を集め、発信することができます。



宇宙空間に浮かぶ衛星さながらの物体…「プラネット」は、アトリウムの中空に位置する、球体型の閲覧室です。プラネットという名称は、球体のフォルムがPLANET（惑星）を連想させることに加え、PLAN+NET、プランを練って創造につなげる、情報ネットワークを活用する場という意味も込められています。





情報化・国際化・環境の時代を先取りする情報図書館

情報図書館の設計は、フランスのポンピドゥーセンターの設計コンペで第二位を獲得した坂茂氏と(株)三菱地所設計によって行われました。活気あふれる交流エリアから、静かな学習・情報エリアまで、その確たる設計思想に裏付けられた斬新なデザインと機能性は、情報化・国際化・環境の時代を先取りした新しい図書館のあり方を示しています。

加速する情報化社会に対して情報リテラシーを高めること。これは創立100周年記念事業の大テーマでもあります。その実践の中核を担うのがこの情報図書館です。当然、ハード環境として、情報化に対応するだけではなく、学園創立者・中村春二先生の本を大切に思う心が、脈々と受け継がれ、このようなエピソードも残されています。

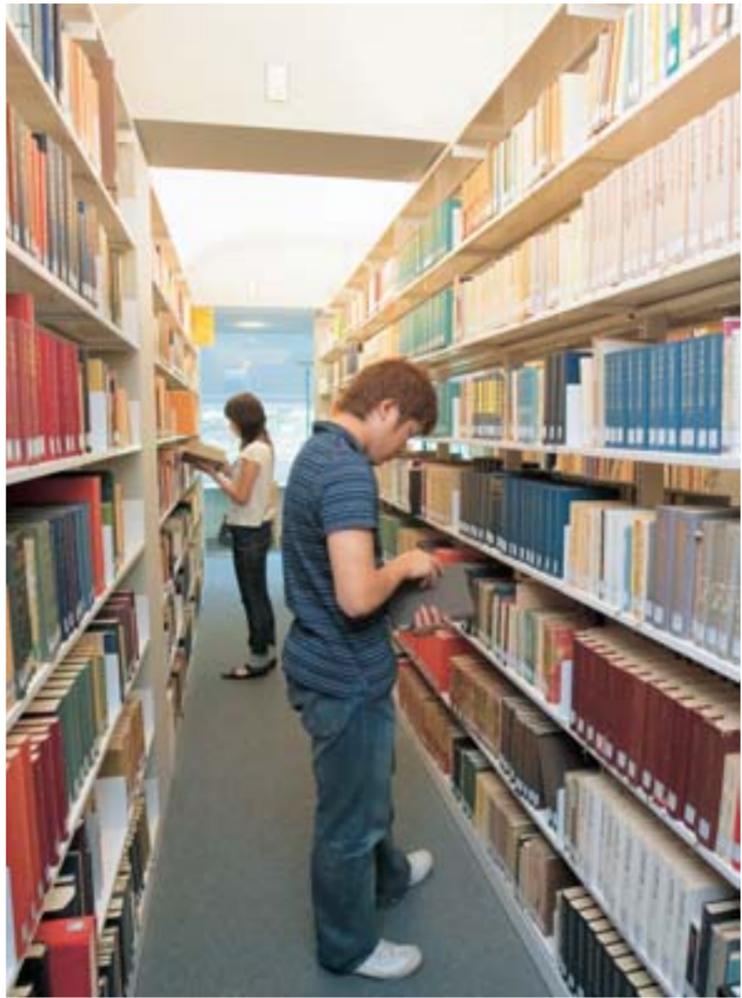
一九〇六(明治三十九)年に創設された成蹊園にはすでに図書室があり、成蹊実務学校が火事に遭った際、春二先生は危険を顧みず率先して本を運び出したそうです。そこまで本を大切に、親しんだのは、「人間はいつか生きるべきか?」という問いかけを教育の根幹に置いてきた春二先生にとって、先人の叢知を学ぶことができる書は、自ら進んで学ぼうとする人間、人格的にもすぐれた人間を育てるために必要不可欠なものであったからなのです。

大学の図書館の歴史は、本紙・裏表紙記事でも特集している、成蹊高等学校の「緑蔭堂文庫」にまでさかのぼります。大学図書館として正式にスタートしたのは一九六七年。四階建てでしたが、将来五階部分の増設と書庫の拡張もできるように設計され、各種閲覧室の座席総数約五〇〇席、図書収蔵能力約三〇万冊という規模を誇りました。

一階に自習室も兼ねた広い閲覧室を設け、二階に開架閲覧室と読書室を兼ねた閲覧室、三階に専門的な学術雑誌室と学科研究室・資料室を設けるなど、階上に行くにしたがって専門性が強くなるよう設計されていました。別館も増築され、図書収蔵能力は約八〇万冊にまでなりました。

その大学図書館の機能を発展的に引き継いだのが情報図書館です。約七二万冊の収蔵能力を持つ地下の自動書庫。約五〇万冊におよぶ図書を自由に閲覧できる開架書架。リフレッシュエリアから、アトリウム、個室閲覧室、プラネットなど、座席総数は二〇〇五席のばりです。

学園の生徒、学生はもとより、卒業生や在学生のご父母をはじめ、地域にも開かれた図書館として幅広く利用されています。



開架書架



リフレッシュエリア



プラネット



個室閲覧室

伝統を守りながらも新しい時代に向けてさらなる教育・研究活動の充実をはかっています

バリアフリーや安全性に配慮した素材と構造、武蔵野の自然との調和を考えた低層設計。アトリウムの中空に浮かぶ閲覧スペース、各フロアに配置された個室閲覧室…。「明るく、美しく、暖かい建物」をコンセプトとする、地上5階、地下2階の建物です。

一人ひとりが自分に合わせて利用できる空間 情報図書館開館にあたって



館長 西藤 洋

成蹊学園創立100周年記念事業の一環として、情報図書館が開館しました。情報図書館というのは建物の名称ですが、そのように命名されたからには、この名称にふさわしい役割、つまり、様々な電子媒体にアクセスして情報を取り出し、交換し、共有する拠点としての役割を担っていかなければならないと思っています。

同時に私たちは「緑蔭堂文庫」という名称も受け継ぎ、大切にしていかなければならないと思っています。書物をひもとく、先人の足跡と知恵に接することは、自ら進んで学ぼうとする人間、人格にもすぐれた人間を育てるうえで、なくてはならない大事なことで、

「明るく、美しく、暖かい建物」をコンセプトに、入口は賑やかで、だんだん奥に入っていくことに、静かになつていく、そんな空間づくりがなされています。

一階にはリフレッシュエリアが用意されていますので、ほっと一息ついたり、友人と語り合ったりできる。中に入れば、必要な資料を探したり、本を読んだり、映像を観ることもできます。二階から五階までの各階には、本館や櫻並木を眺めながら学習・研究できるガ

ラス張りの個室閲覧室がフロアを取り巻くように配置されています。情報図書館は、一人ひとりが自分に合った利用方法を見つけていける多目的な空間なのです。必要に迫られて来るのではなく、時間が空いたから、ちょっと近くまで訪れたから、でもいいですから、まず気軽に利用していただきたいと思っています。

三階から五階のアトリウムの中空にレイアウトされた球体型の閲覧室「プラネット」は情報図書館を象徴するスペースとなります。現在、各プラネットそれぞれに学生諸君から愛称を募っているところです。もともと構想段階からできるだけオープンにすることを考えて情報図書館はつくられています。大学生はもちろん、中高生、卒業生、在校生のご父母をはじめ、地域住民も含めて、より多くの方々に利用の機会を提供していきたいと考えています。社会の信頼に応え、教育・研究活動によ

Profile
経済学部教授。経済学説史や科学哲学を専門分野として、研究テーマ「実証主義の科学思想史」に取り組む。授業科目は「ミクロ経済学基礎研究」「公共経済」「法と経済」などを担当。日本経済学会、科学基礎論学会に所属するとともに、学内では全学入試委員長、財政委員長を歴任。

Message

平成18年度 新司法試験に本学から11名が合格しました

9月21日(木)、法務省より第1回「新司法試験」の結果が公表されました。本学法務研究科(法科大学院)平成16年入学一期生の内の既修者(2年修了コース)25名の方々と同試験を受験しました。その結果は、短答式試験の合格に必要な成績を得た者22名、論述試験を経て最終的に合格した者11名となりました。合格した方々には心からおめでとくと申し上げます。

新司法試験合格者体験報告会及び合格祝賀会が開催されました

10月7日(土)18時から大学西1号館(法科大学院棟)において新司法試験合格者を招いて、体験報告会と祝賀会を開催いたしました。当日は合格者11名のうち、どうしても都合のつかない方2名を除き9名の方々が出席し、各人の合格体験談を当日出席した在校生や関係者(来賓・専任教員・非常勤講師)に熱く語っていただきました。

2007年度 法科大学院入学試験について

来年4月入学の入学選抜試験を9月並びに11月に実施しました。第1回の新司法試験の結果が既修者試験の志願者数等に影響が出る

◎ 法学未修者(3年修了コース)「一般選抜/社会人選抜」
募集人員 約30名
9月9日(土) 小論文
9月23日(土・祝)、24日(日) 面接
●志願者数 一般選抜 159名 社会人選抜 150名
●合格者数 一般選抜 26名 社会人選抜 30名
合格者を9月29日(金)に発表しました。

◎ 法学既修者(2年修了コース)「一般選抜/社会人選抜」
募集人員 約20名
11月5日(日) 法律科目筆記試験
11月12日(日) 面接(社会人選抜のみ)
●志願者数 一般選抜 297名 社会人選抜 63名

平成18年5月19日、20日、22日、23日の4日間をかけて第1回新司法試験が行われました。私たちは初めての法科大学院卒業生としてこれを受験しました。そして、同年9月28日に試験結果の発表があり、私は運良く合格することができました。成蹊大学法科大学院に所属したことがこの結果につながったものと思います。そこで2年間の法科大学院生活について振り返ってみたいと考えます。法科大学院制度は平成16年春から始まり、私たちは第1期の入学者にあたります。旧司法試験と異なり、社会の変化に対応し新しい法律家を養成するため、新司法試験では法科大学院教育が必須となるように制度改革が行われました。法科大学院制度では、教育の特色の一つとして、少人数による、双方向的な教育があげられています。従来の大学法学部で主流となっていた大教室において行われていた一方通行的講義ではなく、少人数クラスを前提として、双方向的な授業を行われることが予定されています。そこで、このような少人数による双方向授業を実現し教授と学生との間で活発な質疑応答・討論がなされるよう、法科大学院の設置基準では1クラスの人数は50名程度、教員と学生の数は1対15程度とされています。少人数教育は成蹊学園の伝統と聞きます。成蹊大学法科大学院においては「きめ細かな少人数教

育」「面倒見のよいロースクール」を特色とし、一般的な法科大学院よりも高いレベルの少人数教育を実践し、全国屈指の教育環境を実現していると思います。成蹊大学法科大学院は小規模法科大学院として定員数が限定されているのに加えて、専任教員が16名いらっしゃいます。これによって先生と学生の比は1対10となり、前述の設置基準を大きく上回っています。さらに、働きながら通学できるように、成蹊大学法科大学院では夜も講義が行われるという他校にない特色があります。そのため同一の講義が昼夜2回行われることとなります。このカリキュラムの特色により1クラスの人数がさらに減ることになり、より少人数教育が実現されています。実際に私が受けた講義では10名以下というも少なくありませんでした。もちろん、このような数字だけではなく面倒見が良く学識経験豊かな先生方が学生一人ひとりの個性と自由を大切に、少人数教育を実質化してくださったのは言うまでもありません。このような少人数クラスによる授業は、とても有意義なものでした。先生に対し法律上の疑問を直接聞くことができる、あるいは先生から指名され法律の理解を問われ、これに対して答えるという贅沢な時間を過ごすことができました。また、このような少人数、双方向授業では講義前の充実した予習が必要不可欠です。このような講義、生活の積み重ね

合格者の声

法学既修者 第1期修了生
高田 知己



が法律の理解を深めるのに役に立ったのだと思います。さらに法科大学院生活で思い出深いのは、親身になって私たちの学生生活をサポートしてくださる事務方スタッフの存在です。入学後はもちろん、入学試験前の学校説明会の時から成蹊学園のスタッフの方々には親切に対応していただきました。私の場合には体が不自由で車椅子を使用しているということもあり、学生生活にやや不安を感じていました。しかし、法科大学院のある西1号館ではバリアフリー施設が充実しており、またスタッフの方々には心の通った配慮をしていただきました。そのため、学生生活に不自由を感じることなく勉強に集中することができました。このように、私は成蹊大学法科大学院の恵まれた環境のおかげで合格させていただきました。暖かく見守ってくれた先生並びに成蹊学園スタッフ、関係者の皆様、本当にありがとうございました。

ぎよつとしたことです。司法試験とは、頭脳より体力勝負の世界なのかと(笑)。確かに、その頃は、司法試験に合格するには、一日十二時間の勉強を三年間続けなければならぬといわれていた時代でした。もともと、私はガリ勉に走ったわけではありません。本も乱読していましたが、音楽会や映画にもよく出かけていました。

――卒業後何年目で司法試験に合格されたのですか。
梶谷 五年目です。歴代の日本弁護士連合会会長の中で、これだけの不合格歴を持っているのは、私だけでしょう(笑)。けれども、私はそのことをあまり問題にはしていません。頭の中に判例を詰め込むような暗記型の勉強に陥ることよりも、幅広い人生経験を積むことが、弁護士として活動していく上で、必ず生きてくると確信しているからです。

その意味では、暗記型の教育を排し、プロセスを重視する法科大学院の教育には大いに共鳴していますし、日弁連としても全面的に協力するというスタンスをとっています。

――先日、第一回新司法試験の結果が公表されましたが、どのような評価をされていますか。
梶谷 従来の司法試験は、約六十倍という驚異的な競争率でした。ドイツのある学者から「そんな高倍率を記録するのは、試験制度自体がおかしい」と指摘されたほどです。この難関を突破するには、暗記型の勉強に走らざるを得なかったことも事実でしょう。しかし、それで果たして有為な人材が育成できるのか、疑問があったわけです。司法制度改革審議会が意見書で述べたように、制度を動かすのは疑いもなく人です。法科大学院を良識、リーガルマインドを備えた人材を育成する場として整備することは、より良い法曹界を形成していく上で不可欠だったのです。ただし、新司法試験が法科大学院の教育に即した出題内容に変貌しなければ意味がありません。再び試験対策に特化した暗記型教育を行う法科大学院が出てくる危険性があるからです。くわしく分析したわけではありませんが、第一回新司法試験の出題内容は、論理力を重視したものになっていますし、合格者の地域的なバランスも一応とれていきます。順調にスタートを切ったと評価しています。

果が公表されましたが、どのような評価をされていますか。
梶谷 従来司法試験は、約六十倍という驚異的な競争率でした。ドイツのある学者から「そんな高倍率を記録するのは、試験制度自体がおかしい」と指摘されたほどです。この難関を突破するには、暗記型の勉強に走らざるを得なかったことも事実でしょう。しかし、それで果たして有為な人材が育成できるのか、疑問があったわけです。司法制度改革審議会が意見書で述べたように、制度を動かすのは疑いもなく人です。法科大学院を良識、リーガルマインドを備えた人材を育成する場として整備することは、より良い法曹界を形成していく上で不可欠だったのです。ただし、新司法試験が法科大学院の教育に即した出題内容に変貌しなければ意味がありません。再び試験対策に特化した暗記型教育を行う法科大学院が出てくる危険性があるからです。くわしく分析したわけではありませんが、第一回新司法試験の出題内容は、論理力を重視したものになっていますし、合格者の地域的なバランスも一応とれていきます。順調にスタートを切ったと評価しています。

「成蹊法曹会」のメンバーが続々増えることを期待
――成蹊の法科大学院に期待されることはありますか。
梶谷 現職弁護士を含めて、熱心な教員揃いで、充実した教育が展開されていますね。その一人である山根祥利教授とは話をする機会が多いのですが「意欲的な学生ばかりで、手応えを感じている」と話していました。正直なところ、これまであまり法曹養成の伝統がなかったので心配していたのですが、山根教授の言葉通り、今回の新司法試験で十一名が合格しており、喜ばしく感じています。

実は、私の事務所でも、成蹊の法科大学院の院生を、エクスタインシッフ院生時代に法律事務所などで法律実務研修を行う制度で受け入れています。スタッフに聞くと、みんなとても優秀で、考え方が柔軟性に満ちていると、高評価を得ていました。その評価通り、初年度に受け入れた二名は、ともに合格を果たしています。

なお、現在、成蹊学園OBで組織する「成蹊法曹会」には約六十名のメンバーがいます。私は、成蹊学園のOBは法曹としての資質を備えている人が多いとも思っており、今後急速に増加することを

期待しています。
――成蹊学園の教育が、弁護士として活動する上でも役立つということでしょうか。
梶谷 そう思います。よく弁護士に必要な資質として「高度な専門性」「倫理観」「人権感覚」があげられますが、私はそれに加えて、もう一つ、相手の気持ち、悩みを理解する「やさしい心」が大切だと考えています。その心を醸成するには、様々な人生経験を積み、相手の立場に立って、なぜこう思うのか、なぜこんな行動を起こしたのかを汲み取ろうとする下地、素養がなければなりません。けれども、その下地は簡単に身につくものではありません。家庭環境、および学生時代の環境の中で、自ずと育まれていくものです。

そして、成蹊学園が、まさにこの「やさしい心」を育む学園であることは間違いありません。校名の由来となった「桃李不言下自成蹊」の言葉のように、相手に対するやさしい心と、自らに対する謙虚な気持ちを大切に。そんな学園の醸し出す雰囲気、いつまでも大切にしながらつづけてほしいと願っています。

――インタビュー/広報課 伊藤昌弘



された四大戦一般種目の本選に出場しました。

本大会での様子については、体育会各団体に所属する学生による正式種目の結果も含め、次号でお知らせします。

ハイテクリサーチセンターが第二回シンポジウムを開催

〇〇四年度、文部科学省の支援をうけてハイテクリサーチセンターが大学院工学研究科に設立され、研究科五専攻を横断して異なる分野の多くの研究者が、「人にやさしい」をキーワードに次世代システムの開発をかね、三つのプロジェクトで研究を進めています。

今年の九月五日(火)に、昨年

修了者数	経済学研究科	1名
卒業生数	経済学部	6名
	工学部	1名
	文学部	5名
	法学部	12名

に引き続き第二回シンポジウムが開催されました。今回は、各プロジェクトの研究者による講演とNHK放送技術研究所所長であり、超高度TVカメラ研究の第一人者である谷岡健吉先生をお迎えして、「超高度HARP撮像管の研究開発とその応用」と題した特別講演が行われました。当日は多数の聴講生が会場を埋め尽くし、先生方の講義に真剣に耳を傾ける学生の姿が目立ちました。

二〇〇六年度学位授与式

〇〇六年度学位授与式(九月修了・卒業)が九月三十日(土)大学十号館十二階ホールで行われました。三十六名が出席し、和やかに式が進められました。

修了者・卒業生数は左記のとおりです。

**二〇〇七年度より
経済経営研究科が
新設されます**

〇〇七年度から、大学院の経済学研究科と経営学研究科が統合され、「経済経営研究科」(経済学専攻、経営学専攻)が新設されます。経済学・経営学系分野全般を総合的に学修することにより、現代社会における高度職業人を養成することが目的です。

博士前期課程は、「研究者養成コース」と「経済・マネジメントコース」のコース制となり、そのうち経済・マネジメントコースには、二年で修了する一般プログラムのほか、一般プログラムを四年間かけて無理なく学修する「長期履修プログラム」があります。

また、経営学専攻には、税務に関して専門的な学修研究を行う「高度税務プログラム」、実務経験が三年以上の社会人対象で、一年で修了する「社会人プログラム」があります。

カリキュラムは、経済学と経営学の各分野をテーマ別に細分化した六つのユニット(戦略マーケティング、組織人間、会計税務、数量分析、公共政策、ファイナンス)からなる基幹科目のうち一つないし二つのユニットを選択して、テーマ重点の学修を行うことを中心とし、演習科目、基

本科目、上級理論科目、実践科目、国際理解科目を併せて履修することにより、総合的能力を養成します。

博士後期課程では、博士論文作成に必要な素養を深め、研究者やより高度な専門職従事者を養成します。

社会人プログラム等の出願期間は一月九日(火)から一月十九日(金)となっています。お問い合わせは入試課まで(〇四二二三七三三三三)。

**本学が平成十八年度
現代GP大学に
選定されました**

本学より文部科学省に申請した取組課題「進化する教養教育と国際化新人材の育成」基礎力活用による中国語コミュニケーション能力育成展開プログラム(ゆう)が、厳しい審査を経て、平成十八年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(通称:現代GP)」に採択されました。

この現代GPは、文部科学省が、各種審議会からの提言等、社会的要請の強い政策課題に対応したテーマ設定を行い、各大学等から申請された取組の中から、特に優れた教育プロジェクトを選定し、広く社会に情報提供するとともに、財政支援を行うことで、これからの時代を担う優れた人材の養成を推進する

ことを目的とするものです。本年度は、六つのテーマが設定され、全国の大学・短期大学・高等専門学校から合計で五百六十五件の申請があり、百十二件が採択されました。本学が申請したテーマ「ニーズに基づく人材育成を目指したe-Learning Programの開発」の分野においては、申請総数七十一件のうち、十三件が採択されています。

**四大戦一般種目
集中予選会から
本大会へ**

大学運動競技大会(四大戦)に向けて、八月四日(金)一般種目の学内予選が本学において開催されました。

一般種目は、体育会団体に所属していない一般の学生が誰でも好きな種目に参加できるため、文化会団体や届出団体(サークル)などの学生も積極的に参加し、熱戦が繰り広げられました。軟式野球、ソフトボール男子、サッカー、フットサル、バレーボール女子の五種目が行われ、延べ九十八チーム、応援を含めて約五百人の学生が参加しました。また、体育会本部が運営にあたり、体育会各団体の部員たちも各競技の審判を務めるなど大会を支えました。

この予選を勝ち抜いたチームが十月二十日(金)から二十二日(日)に学習院大学を会場に開催



2006年度 後期公開講座のご案内

成蹊大学では、年2回公開講座を開催しています。どなたでもご参加いただけますので、ぜひお出かけください。

成蹊大学後期公開講座テーマ「憲法を考える」

- | | |
|---|---|
| <p>11月11日(土)</p> <p>「立憲主義の意義
:第9条は何のために」</p> <p>長谷部 泰男 氏(東京大学法科大学院教授)</p> | <p>11月18日(土)</p> <p>「差別はあるが格差のない社会」と
「格差はあるが差別のない社会」
:「法の下での平等」の日米比較」</p> <p>安部 圭介 氏(成蹊大学法学部教授)</p> |
| <p>12月2日(土)</p> <p>「新しい人権
:プライバシー権に焦点をあてて」</p> <p>城所 岩生 氏(成蹊大学法学部教授)</p> | <p>12月9日(土)</p> <p>「日本国憲法は占領軍の贈り物?
:憲法は何故国民に支持されたか」</p> <p>安念 潤司 氏(成蹊大学法科大学院教授)</p> |

会場 大学8号館101室
時間 13時30分~15時30分
受講方法 申込不要。
当日直接会場へお越しください。(無料)

お問い合わせ先 企画運営課
TEL. 0422-37-3535 / FAX. 0422-37-3883
URL <http://www.seikei.ac.jp/university/>

卒業生の皆様へ 大学入試願書無料配布のお知らせ

書店等で販売中の2007(平成19)年度成蹊大学一般入学試験要項(願書)を、卒業生に無料でお送りいたします。下記の方法でお申し込みください。

- 1.願書請求方法:
電話、FAX、メールまたは郵便にて ①氏名 ②住所(※1) ③電話番号 ④最終卒業校(大学は学部) ⑤卒業年 ⑥必要部数 を成蹊会までご連絡ください。
(※1)郵送先は成蹊会登録の住所となります。

<申込先>
電話:0422-51-2244 FAX:0422-54-6766 メール:seikeikai@jim.seikei.ac.jp
社団法人成蹊会 大学入試願書無料送付係 宛

- 2.受付期限:2007年1月9日(火)(郵便の場合には必着)
3.お問い合わせ先:入試課(電話:0422-37-3533)

オープンキャンパス

本学では、今年度オープンキャンパスを計三回延べ六日間にわたって開催し、受験生をはじめとする多くの方々に成蹊大学の魅力を紹介しています。

第一回は七月二十九日(土)、三十日(日)、第二回は九月十七日(日)、十八日(祝)に行いました。オープンキャンパス当日は、キャンパス見学ツアーや体験講義、

成蹊大学ガイダンスなどの多数のイベントを実施し、今年も全国各地から多くの方々にお越しただいています。

第三回は、樺祭期間中の十一月二十五日(土)、二十六日(日)に開催します。両日とも十時から受付開始で、事前の申込みは不要です。時間内は入退場自由で十七時終了予定です。各イベントのタイムスケジュールはホームページでご確認ください。

学内陸上競技大会 5月29日



学内競漕大会(レガッタ) 6月27日



ブレントウッド校との交流

六月十七日から二十一日まで、アメリカ合衆国カリフォルニア州にある私立のブレントウッド校から中高生十四名が来校しました。五日間、成蹊の中高生の家庭にホームステイしながら、授業やクラブ活動に参加したり、都内見学をしまし



中学 夏の学校

一の夏の学校は七月十七日から二十日まで、二の夏の学校は七月十七日から二十一日まで実施されました。一年生は春の遠足に引き続き天候に恵まれず、車山高原の自然を満喫することはできませんでした。一日目は体育館で開校式を執り行いましたが、予定されていたリフトで車山頂上に行



高等学校 学習旅行

夏の夏は北海道コース(三十七名) 沖縄コース(三十七名) 韓国コース(三十七名)

ほうが楽しいことに気付きました。日本でもこのような授業がもつとあれば良いのと思いましたが。この旅は正直、タフさがなく辛いと思います。「誰かがいるから何とかなる」ではなくて、自分から積極的に色々なことに挑戦できなければ、得られるものは少ないと思います。しかし、来年以降もこのプログラムが長く続いてほしいです。何故なら、大勢の人に私が経験したような貴重な体験をしてみたいからなんです。最後にになりましたが、このプログラムに関わっていた先生方にお礼を言いたいです。ありがとうございました。

健康講座

七月十二日、高校二年生を対象に、神奈川県立厚木病院の医師で地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター長の岩室紳也医師を講師にお迎えして健康講座を行いました。「性についての正しい知識」をテーマに、エイズ治療に携わっている立場から「AIDS」を中心にしたお話を伺いました。「妊娠した女性の身体で初めての変化は何でしょうか?」「マジック・ジョンソン(元NBA選手・HIV感染)とバスケットの試合中、お互いが流血する怪我を負った時、HIV感染するかな?」「愛の反対は何だろうか?」「等、問いかけながら生徒参加型の講演が進められました。生徒からは誰も教えてくれない知識を聞くことができてよかったですという感想が多く、貴重な時間を持つことができました。

七

七月十二日、高校二年生を対象に、神奈川県立厚木病院の医師で地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター長の岩室紳也医師を講師にお迎えして健康講座を行いました。「性についての正しい知識」をテーマに、エイズ治療に携わっている立場から「AIDS」を中心にしたお話を伺いました。「妊娠した女性の身体で初めての変化は何でしょうか?」「マジック・ジョンソン(元NBA選手・HIV感染)とバスケットの試合中、お互いが流血する怪我を負った時、HIV感染するかな?」「愛の反対は何だろうか?」「等、問いかけながら生徒参加型の講演が進められました。生徒からは誰も教えてくれない知識を聞くことができてよかったですという感想が多く、貴重な時間を持つことができました。

- *1 生理がとまる
*2 感染しません

き、周囲を遠望する計画は悪天候のため中止となりました。二日目も雨天のため、三日目に予定されていた「うどん打ち」を実施し、自分たちで小麦粉をこね、うどんも太かったり長かったりしましたが、カレーうどん・けんちゃんうどん・味噌煮込みうどんをやはり手作りの野菜サラダとともに美味しく堪能しました。三日目も雨でしたが、体育館で「てびねり体験」を楽しく学習しました。午後には雨も上がり、ホテル周辺での「自然観察学習」を行いました。夜のキャンプファイヤーも体育館内でのキャンドルサービスに変更しましたが、クラス対抗歌合戦やフォークダンスで大いに盛り上がりました。

二年生も「こんなに雨が続く夏の学校は初めて」との声が引率教員の中から多々出る中、志賀高原において実施されました。二日目は池廻りの予定でしたが、雨のため、ホテルから前山へ、そして四十八池まで行き、そこからまた戻るというルートに変更しました。雨の中の野外活動は「非日常体験重視」という目的を持つ夏の学校ならではのものとなりました。三日目も雨で笠ヶ岳登山は断念し、クラス対抗ドッジボール大会を総当たり戦で実施しました。四日目は雨も上がり、予定通りの活動ができました。午前中は観光農園に行

七

七月十三日、中学三年生と高校生を対象に、武蔵野消防署の指導で普通救命講習会を行いました。中学生は災害時や日常起こりうる緊急時の対処法を学ぶために、心肺蘇生・AED使用・応急手当など救命救急活動の訓練を熱心に受けていました。途中、成蹊大学文学部で応急手当普及員の学生がコーチとして参加し、AEDを使った救命法を繰り返し練習しました。

*3 無関心(マザーテレサの言葉から)

普通救命講習会

七月十三日、中学三年生と高校生を対象に、武蔵野消防署の指導で普通救命講習会を行いました。中学生は災害時や日常起こりうる緊急時の対処法を学ぶために、心肺蘇生・AED使用・応急手当など救命救急活動の訓練を熱心に受けていました。途中、成蹊大学文学部で応急手当普及員の学生がコーチとして参加し、AEDを使った救命法を繰り返し練習しました。



七

七月十八日から八月八日までケンブリッジ大学で三番目に古いペンブルックカレッジ

ケンブリッジ大学 短期留学

が運営する国際プログラムに高校生三十名を派遣しました。このプログラムは成蹊大学とのつながりを持つ同カレッジが成蹊高校生のために用意するもので、成蹊学園国際教育センターと中高国際教育委員会が中心となって企画運営に当たりました。ここに高校生のレポートを紹介致します。
高三D 大村 沙紀
気がつけば、アツという間に三週間が経っていて、日本へ帰る飛行機の中でした。楽しくて楽しくて三週間では足りないほどでした。
私はこの夏、ケンブリッジ大学短期留学に参加しましたが、このプログラムは今年から新たに始まったものだったので、先生方も私たちも新しく経験することばかりでした。正直なところ、行く前は不安四〇%、期待六〇%という感じでした。
ケンブリッジに到着してから、最初に驚いたことは町並みと校舎です。かの有名なハリポッターに出てきそうな建物や食堂。何をとつても古いけれど、どこか暖かみのあるような町並みでした。それは町並みだけに留まらず、現地でサポートしてくださったTA(ケンブリッジ大学の学生で常に私たちの面倒を見てくださいました)や授業を担当してくださった先生方も素

運動部・文化部の活躍

- 中学ラグビー部 関東大会出場決定
● 高校女子バレー部 関東私学大会出場決定
● 高校3年片岡裕貴君が「映画甲子園2006」で脚本賞を受賞
● 中学硬式庭球部
● 中学女子バレー部 都大会ベスト16



敵な人たちがばかりでした。私生活は基本的に英語でしゃべることをみんなで目標にしています。勿論、仲間ともです。最初は自分から英語をしゃべることに抵抗があったけれど、気がつけば三年生を中心に積極的に発言するようになっていました。
私たちが受けた授業のほとんどは日本のように椅子に座って先生の講義を聞くスタイルではなく、生徒たちがたくさん発言するスタイルでした。ある先生の授業では外へ出て芝生の上で授業したり、色々な建物を見学するものもありました。最初は黙って話を聞いているのが当たり前だと思っていたので、「どんどん発言していいよ」と言われた時は戸惑いました。しかし、先生の講義をただ聞いているだけ、それについてディスカッションする

夏の学校を終えて

学校の伝統的な行事教育の柱である「夏の学校」は、六月の二年夏の学校(箱根)に始まり、九月の四年夏の学校(三浦)を最後に、全学年が無事に終了しました。

七月十八日以降開設の三年・五年の夏の学校は、雨のために子どもたちが楽しみにしていた金時山や磐梯山の登山を中止するなど、残念な結果となりましたが、担当教員の代替行事の工夫で、子どもたちは多くの学びを手に入れることができました。

また、六年夏の学校も近年にない低水温のために、例年以上に遠泳参加者を慎重に検討するなど、師範団と医師団、引率教員が、安全対策に心をくだいた夏の学校でもありました。

そして四年夏の学校は、七月の天候不順を一気に挽回するかのような残暑厳しい中で全日程を終了することができました。

今年度は、新しい試みとして各学年の様子を小学校ホームページで速報する体制をとりました。担当教員が指導の合間に送信するわけですから、まだまだ試験的な取り組みです。しかし、夏の学校終了後すぐに夏期休業となる学年のご家庭にとってはタイムリーな情報ではなかったかと思えます。二学期になってからの各学年PTAでの報告、

学級通信での紹介とともに、現在の小学校を知っていただく広報の一環として、今後も検討してまいります。

初めての夏の学校…一年生の記録

七月十三日から二泊三日で行われた一年生の夏の学校は、晴天の箱根で全日程を予定通り実施できました。

一年東組の石根要二先生は、今年度が一年生担当六度目となります。石根先生は今回の夏の学校を行動メモに取り、学級通信「根っこ」に子どもたちのようすを掲載しました。

初めて夏の学校を体験した一年生の子どもの活動とともに、入門期指導の一事例として、二日目の記録を中心に紹介します。

夏の学校 七月十三日(木) 一日目

八時〇〇分 一年生全員(一名)広場に集まって挨拶。お医者さんと看護師さんの紹介。トイレに行ってからバスに乗車する。
八時十五分 「行ってきまーす」お母さんたちが手を大きくいっぱい振ってくださる中をスタート。バスの中は、すぐに元気な声が飛び交う(今からこのぐらいの元気で行動すれば、夜早く寝てくれるだろう)。

一時三十分 成蹊箱根寮に到着する。

一時四十分 開校式。「一年生の初めての夏の学校です。二泊三日どうぞよろしくお願ひします」。

二時〇〇分 東組一〇三号室の部屋に入る。①トイレに行く。トイレの場所を知る。②制服を校内に着替える。制服はハンガーにかけられる。③グループの代表を決める。④トランクとリュックサックの片付け場所を決めて、整理整頓をしながら片付ける。⑤布団とタオルケットと枕とシーツのある所の確認をする。

二時四十分 乗風台で遊ぶ。
四時〇〇分 絵日記を書き始める。
四時三十分 入浴。
六時〇〇分 夕食。食後の検診。
七時四十分 夜の集い(夜の散歩)箱根寮の玄関から外に出てクラスごとにスタートして、乗風台の外周を大きく一回りする。途中で山の神様が、マシユマロをプレゼントしてください。

九時〇〇分 「おやすみなさい」消灯。おしゃべりをしてうるさくする。
五時十五分 話し声が聞こえてくる。それにつれて次々と起きる子どもがいて、にぎやかになる。

夏の学校 七月十四日(金) 二日目

八時〇〇分 一年生全員(一名)広場に集まって挨拶。お医者さんと看護師さんの紹介。トイレに行ってからバスに乗車する。
八時十五分 「行ってきまーす」お母さんたちが手を大きくいっぱい振ってくださる中をスタート。バスの中は、すぐに元気な声が飛び交う(今からこのぐらいの元気で行動すれば、夜早く寝てくれるだろう)。

着を脱ぎ、片手にタオルを持って堂々と歩いて浴場へ。前をそうつと隠すというような気遣いは見られない。まさに裸と裸のふれあいという感じで、のびのびとおおらかである。早く洗って湯船に入った子どもは、お湯をかけあつたり、泳いだりと、プールと間違えている感じ。私も裸の仲間入り。
五時〇〇分 絵日記を書く。(ボードへの板書)こまがたけ ロープウェイ あしのこじゅもくえん 三きろめえとる そうどうせん アイ

スキャンデー おひるごはん カレーライス ひるねどくしよじょうふうだいであそぶ おふる キャンプファイヤー
板書のメモの順に一日のことを説明してから、(心に残っていることで楽しかったことを絵と言葉で書きましよう)と、絵日記用紙を配る。天気に恵まれ、一日楽しいことがあったせいか、絵日記用紙を手にする時、子どもたちはほとんど書いていった。絵日記の書き方がよく理解できていない子どもには、ゆつくり個別指導をした。夏の学校だ

から、その指導ができるゆとりがある。
六時〇〇分 夕食(生姜焼き・マカロニサラダ・ヒレ一口カツ・グリーンアスパラ・ワカサギフライ・シュウマイ・ご飯・ワタリガニの味噌汁)。
七時三十分 キャンプファイヤー。箱根寮の駐車場に火種をみ込んで大きく囲んで。①「山の神さまー、山の神さまー。昨日は、マシユマロのお菓子ありがとうございました。今夜は、キャンプファイヤーの火をプレゼントしてください」。「山の神さまー、お願いしまーす」山の神様に声が届くように、みんな大声で呼びかける。②一段上の広場から山の神様が、点火棒を持って登場。点火。③焚き火を囲んで歌と踊り。歌(夏の山、こんにちは山びこさん、箱根寮の歌、星めぐり)踊り(でんでんむし、七夕の遊び)。
八時三十分 部屋に戻って、パジャマに着替える。歯磨き。
八時四十分 布団敷き。
九時〇〇分 こわい話「足あらつてくれる」の読み聞かせ。静かにゆつくりと読んでいく。
九時〇七分 消灯。「おやすみなさい」。そのまま、みんな静かに寝てしまふ。部屋の片隅で座って見守っていたけれど、起きてしゃべりだす子どもはいなかった。よく歩いて、よく遊んで疲れたのだろうか。

ら、箱根園から湖尻までの樹木の散策コース3kmを歩いて行く。二列でおしゃべりをしながらテクテクと歩いて行く。途中で「もう疲れた」という声も聞かれたけれど、みんな元気に歩くことができた。
十一時四十分 湖尻に到着する。

十一時五十分 双胴船に乗船。船室が広くて座席がいっぱいあるので、みんなゆったり座れる。乗り場のお店で買ったアイスクリームを一人一本ずつ貰って食べる。晴天の下、たくさん歩いたので、アイスクリームは冷たくておいしい。
十二時〇五分 箱根園に到着。双胴船から下船する。そこから、また歩いて箱根寮まで帰る。
十二時三十分 成蹊箱根寮に到着。長スボンが暑いので、半ズボンの校内着に着替える。
十二時五十分 昼食(カレーライス・フルーツサラダ・ヨーグルト)たくさん歩いてお腹が空いたのか、人気のおいしいカレーライスだからか、おかわりをし、よく食べる。食後、少しゆつくりする。
一時三十分 午前中たくさん歩いたので、少し休めをする。「二時三十分までゆつくり読書や昼寝をしましょう」。素直に読書や昼寝をしている子どももいるけれど、友達と元気に遊んでいる子どももいる。

九時三十分 ミーティング(引率教職員・医師・看護師による当日の反省、子どもたちの健康について、明日の日程について等)
一時〇〇分 約束の子ども一人起こしてトイレに連れて行く。部屋に帰ると、涼しくなっている。子ども一人ひとりのお腹にタオルケットをかける。
六時三十分 起床。洗顔。寝具と荷物の整理をする。
七時三十分 朝食。
八時四十分 閉校式。
「夏の学校が終わろうとしています。お父さんやお母さんと別れて、箱根での二泊三日の生活、みんな元気で先生とともによくがんばりました。自分のことは自分でやり、みんなを力に合わせるところはよく助け合っていました。だから、夏の学校が楽しくできました。
楽しくできたのは、みんなと先生のがんばりもありますが、箱根寮のおじさんやおばさんが、おいしい食事を作ってくださったり、部屋の掃除、布団の用意をしてくださったからです。それから、山の神さまがやってくれたからです。
ありがとうございました」
(一年東組学級通信「根っこ」六十三号〜六十七号より抜粋)

各学年の夏の学校



1年 乗風台の遊び



2年 朝の体操



3年 宝物箱作り



4年 塩作り



5年 農業体験



6年 浜辺の訓練

安倍晋三氏(昭和52年法学部卒)が第90代首相に就任されました。



第90代内閣総理大臣 安倍晋三氏
環境大臣 若林正俊氏

9月26日(火)、第90代内閣総理大臣に成蹊学園卒業生の安倍晋三氏(昭和52年法学部卒)が就任されました。

安倍氏は小学校から大学まで成蹊学園で一貫して学び、大学では法学部政治学科を

卒業されました。安倍氏の首相就任は、学園としても大変喜ばしいことであり、今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

また、卒業生の若林正俊氏(昭和28年高校卒)が環境大臣に就任されました。

経済学部学会主催講演会



クライブ・グレンジャー卿

経済学部学会主催講演会「The Future of Economic Forecasting」(経済予測の将来)が6月30日(金)、大学四号館ホールにて開催されました。

2003年ノーベル経済学賞受賞カリフォルニア大学サンディエゴ校(UCSD)経済学部教授 Sir Clive W. J. Granger(クライブ・グレンジャー

卿)をお迎えして行われた本講演会では、経済予測モデルの役割や今後の経済予測に関する研究の方向性などについてお話がありました。

観衆には経済学部生、大学院生を中心に一般参加者、教職員も加わり約560名が参加し、熱心に耳を傾ける様子が見られました。

第45回 成蹊大学櫛祭開催

—開催日 11月24日(金)、25日(土)、26日(日)—

テーマ『OPEN!』

★梨花トークショー

【26日(日)】開場13:30 開演14:00 場所:4号館ホール
今年、バラエティ番組やCMで大活躍のモデル出身タレント・梨花さんが櫛祭に登場です!!
梨花さんのいろんな面が見られるかも?! 乞うご期待!!
入場無料、当日チケット配布あり

★キャンパスツアー

【25日(土)26日(日)】12時~、14時~、16時~
お祭りムードいっぱい!の学内を成蹊生が案内します。
最後に成蹊生とのフリートークコーナーも!ここでしか聞けない裏話も聞けます。
ここでしか手に入らないお得な情報満載のプレゼントもあるよ!!

★ビンゴ大会

【25日(土)】14時~15時30分 場所:5号館102教室
毎年恒例、一風変わった成蹊オリジナルビンゴ!ただのビンゴじゃありません!
今年も目玉賞品はなんと海外旅行!!更にビンゴしていない人にも賞品が当たるチャンスが☆
全員参加型のミニゲームで盛り上がること間違いなし!
櫛祭に来たからには参加するしかありません!

★いやし空間

【25日(土)・26日(日)】11時~17時 場所:3号館601教室
プロのマッサージ師によるマッサージが無料で受けられます。
部屋に一步入れればそこはリラクゼーション空間...日頃の疲れた体を癒してみては? 当日予約制

★けやきの小道

花屋...10時~17時、パン屋...13時~売り切れ次第終了 場所:本館前テント
毎年恒例の花屋「吉祥寺フラワーマーケット」が今年も櫛祭に3日間出店します。
更に今年は大人気のパン屋さん「happy DELI」(金・土曜)と「吉ばん」(日曜)も出店決定!いやー、吉祥寺って本当ステキな街ですね☆
どのお店も金券が使えます。



★KEYAKI 海賊物語

10時~17時 景品交換は18時まで
学内に散らばったチェックポイントを巡って暗号解読にチャレンジ!
海賊に協力して財宝(豪華賞品)をGET!

★それいけ!!キッズパーク

【25日(土)・26日(日)】11時~16時 場所:正門入ってすぐの広場
※雨天の場合は室内に変更。詳細は当日、広場前立て看板に記載
スライムを作ったり、的当てゲームで景品をゲットしたり、大きなキャンパスに好きなだけ絵を書いたり...
めいっぱい遊ぼう☆ちびっこあつまれっ!

★熱闘!!展示コンテスト

10時~18時
櫛祭の自慢のひとつ、参加団体による展示企画のナンバー1を決めちゃいます!
投票してくれた方にはステキな景品をプレゼント♪
あなたの投票が展示ナンバー1を決めるっ!

★フリーマーケット

【24日(金)~26日(日)】9時~17時
場所:正門入ってすぐの広場
毎年大盛況のフリーマーケット!今年も最大28店舗が出店予定☆
芝生の上でゆっくりお買い物を楽しんでみませんか? 掘り出し物も多数あり!

成蹊大学 学園祭実行委員会 櫛祭本部
実行委員長 成蹊大学法学部 橋本 雄司

<http://www1.parkcity.ne.jp/f-keyaki/>

内容の変更・中止の場合もあります。

笑おう

健康な人の体の中でも、ガン細胞が一日三千~六千個作り出されています。人が生まれつき持っている五十億個のナチュラル・キラー細胞(NK細胞)がこれを破壊しているお陰で、私たちはガンにおかされずにすんでいるのです。
NK細胞の働きをまとめてみます。

①常に体内を独自にパトロールし、ガン細胞やインフルエンザなど、ウイルス感染細胞や細菌を見つけると、高い殺傷力で攻撃します。
②NK細胞が欠乏すると、ガン、後天性・先天性免疫不全症状、慢性疾患、感染症、自己免疫疾患、遺伝子疾患などの疾病にかかりやすくなります。
③NK細胞の活動があまり活発でない若者はガンにかかり易い傾向があり、加齢と共にNK細胞は減退、病原体を攻撃する機能も衰えます。
④ストレス・慢性的ストレスによる倦怠感・身体的損傷は免疫不全をもたらす、NK細胞の活動は抑制されます。ストレスに継続的にさらされると、NK細胞の活動が停滞しガンなどの進行が加速され、他の免疫機能に影響をおよぼします。

では、NK細胞の活性を高めるためにはどうすればよいのでしょうか。
①禁煙 ②質の良い睡眠 ③適度な運動 ④バランスの良い食事 ⑤体温を下げない ⑥ストレスをためない ⑦笑い、があげられます。なかでも今回は、「笑い」に注目したいと思います。
一九九二(平成四年)「すばるクリニック」の伊丹仁朗院長と大阪府の「元気で長生き研究所」所長の昇幹夫医師が共同で次のような実験を行いました。大阪ミナミの演芸場で、たっぷり三時間大笑いした前後のNK活性(NK細胞の元気度)変化を調べたところ、笑う前にNK活性の数値が低かった人は、すべて正常範囲までアップし、高かった人の多くも正常近くの数値に下がること確認されました。つまり、笑いには、ガンに対する抵抗力を高め、免疫機能を正常化させるということがわかりました。
さらに伊丹先生は、一九九四年、つまらなくても作り笑いをしたときのNK活性がどうなるかということも実験したところ、前回と同じ傾向がみられました。こうした実験から、伊丹先生は「免疫力(ガンに対する抵抗力)を強くしたいと思う人は、面

保健師・養護教諭 石川 孝子

成蹊学園史料館に「ミロのヴィーナス」が設置されました。



成蹊学園史料館に「ミロのヴィーナス」が設置されました。ヴィーナス像には種々の作品がありますが、1820年、エーゲ海のメロス島の土中より発見されたアフロディテ像にその地名を冠したものが「ミロ(メロス)のヴィーナス」と呼ばれています。作者は不明、制作年代もはっきりしていませんが、紀元前2世紀末頃と推定される大理石像で現在はバリのルーブル美術館に所蔵されています。

学園のミロのヴィーナスは原作をもとにして作られた石膏像で、昭和5、6年頃に学園創立者岩崎小弥太氏の令弟、岩崎輝弥氏より寄贈を受けました。長らく旧大学図書館に陳列されていましたが、情報図書館新設を機に作品の保管・展示面を考慮して史料館に移設されることとなりました。

これまでこの石膏像は日本がルーブル美術館から

購入した三点のうちの一つであると伝えられてきました。しかし移設に伴う修復の結果、石膏像は明治末から大正初年に日本の石膏師「宮島一」氏が制作したことが判明しました。学園の石膏像はルーブルが販売したものではなく、日本に来た石膏像とともに宮島氏が制作したものと考えられます。

宮島氏は日本の石膏史の草分け的存在であり、その仕事の巧みさは種々の文献で紹介されています。しかし現存する宮島氏の作品は非常に少なく、また学園のもののように宮島氏の名前が入ったプレートが付けられていることは極めて稀です。学園の石膏像は日本美術史上、貴重な資料であることがわかりました。

紹介した石膏像は現在学園史料館2階ロビーにて展示中です。興味のある方は是非一度ご来館下さい。